

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年2月16日 No. 14

魅力いっぱいのにびきニデーに参加しよう

青年中心に代表派遣のとりくみすすむ 茨城

民青茨城県東部地区委員会は、昨年の3・1にびきニデーに7人が参加して核兵器廃絶への熱い想いを報告会や感想文などにしてひろげてきました。今年に入り、2月1日には県原水協の加藤岑生会長を講師に、3・1パンフにもとづいて学習会を開きました。

今年は10人の参加を目標に、「いっしょに車で静岡・焼津に行こう」と青年に声をかけ、現在8人の参加が決まり、さらにひろげようと張り切っています。

茨城県原水協では、15人を目標に、青年のほか、全農林労働組合、竜ヶ崎、古河、東海の地域原水協などの代表参加が決まっています。

1泊2日の「核兵器なくそう平和の集い」で交流 青年4人がにびきニデー参加 高知

高知県原水協、ピースパイオニアーズ、ピースエッグ実行委員会の3団体共催による「核兵器なくそう平和の集い」が2月7日、8日、高知県香南市の県立青少年センターで開催され、13人が参加しました。

1日目はにびきニ事件を学ぶため、映画『第5福竜丸』を鑑賞。夜には一人ひとりが平和活動に取り組むようになったきっかけを真剣に話し合い、ゲームで楽しく交流を深めました。

2日目の午前中は高知県原水協の和田忠明代表理事を講師に、核兵器廃絶に向けた情勢とNPT再検討会議の意義を学びました。その後グループに分かれ、講義の感想や「自分達にできること」などを話し合い、「核兵器を本当になくしていけるという確信が持てて元気になった」という感想や、「核兵器廃絶署名をもっと広げるためにいろんな工夫をしてみよう」などの意見が出されました。高知県からは3・1にびきニデーに青年が4人参加することが決まっています。



核兵器廃絶に向けた世界の流れを語る
和田忠明代表理事(2月8日・高知)

新署名3400筆目標に NPT(NY)に代表派遣も確認 岡山・高梁原水協

高梁原水協(代表・丸山清氏)は2月13日、高梁市職労書記局で組織代表者会議を開き6人が参加しました。はじめに岡山県原水協・平井事務局長が核兵器をめぐる情勢について報告があり、「世界は今核兵器廃絶の大きな流れが作られようとしている。アメリカをして真に核兵器廃絶の側に立たせるためには大きな核廃絶の国際的世論で包囲しなければならないこと。そのために唯一の被爆国である日本政府の姿勢を変えさせること、草の根の国民世論を作り上げることが決定的に重要であること。それが今回の『核兵器のない世界を』署名である」ことが確認されました。その上で、高梁原水協として人口10%、3400筆の目標で取り組むこと、今年の世界大会までに2000筆を集めることなどを決め、さっそく3月2日に高梁駅前で行った宣伝・署名行動を計画、市長・議長に賛同を求め、2010年のNPT再検討会議に高梁から代表を1人派遣しようと意思統一を行いました。高梁原水協からも3・1にびきニデーに代表を送ることが決まっています。